Rec'd PET/PTO 18 MAY 2005

特許協力条約

PCT

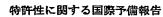
10/535401

REC'D 1 0 JUN 2004

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

出願人又は代理人 の告類記号 F9331	今後の手続きについ	いては、様式PCT/	[PEA/416を参	飛すること。	
図動出願番号 PCT/JP03/14931	国際出願日 (日.月.年) 2	1. 11. 2003	優先日 (日.月.年) 22.	11. 2002	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 C06D 5/00, C06B 21/00, 23/00, 25/00, 29/22, 31/00, 43/00, 45/00, B60R 21/26					
出願人 (氏名又は名称) 日本化薬株式会社					
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。					
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。					
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a					
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)					
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙					
b 図子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)					
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。					
 					
国際予備審査の請求告を受理した日 24.03.2004		国際予備審査報告を作成した日			
		•	20.05.200	<u> </u>	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区假が関三丁目4番3号		特許庁審査官(権限の 山 本 電話番号 03-3		4V 9280 線 3483	



国際出願番号 PCT/JP03/14931

第Ⅰ欄 報告の基礎					
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。					
 □ この報告は、					
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)					
☑ 出願時の国際出願書類					
□ 明細告 第ページ、 第ページ*、	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの				
第ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの				
請求の範囲 第	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの				
第	付けで国際予備審査機関が受理したもの				
第 ページ/図、 第 ページ/図*、 第 ページ/図*、	出願時に提出されたもの				
□ 配列表又は関連するテープル 配列表に関する補充欄を参照すること。					
3. 補正により、下記の書類が削除された。					
明細書 第	ページ 				
□ 図面□ 配列表 (具体的に記載すること)□ 配列表に関連するテーブル (具体的に記憶	載すること)				
4. この報告は、補充欄に示したように、この報	告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越				
えてされたものと認められるので、その補正な	がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))				
□ 明細書 第 □	ページ 項 ページ/図 載すること)				
* 4. に眩当する場合、その用紙に "superseded" と配入されることがある。					



特許性に関する国際予備報告



国際出願番号 PCT/JP03/14931

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明

1. '見解

進歩性(IS)

請求の範囲 _____1-22_

産業上の利用可能性 (IA)

新規性(N)

請求の範囲 __ 請求の範囲

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

非アジド系組成物で形成された筒状のガス発生剤成型体において、その両端が潰された状態に成型することは、国際調査報告に列記されたいずれの文献にも記載されておらず、また、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲

請求の範囲

請求の範囲